Promis

神戸大学国際文化学研究推進インスティテュート（Promis）主催
2024年度セミナー

言語の未来と翻訳者の役割

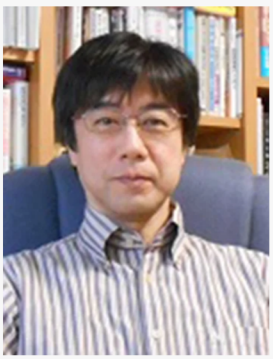
言語は必然的に変化していく。100年後の世界の言語状況を見据えたときに、現在の翻訳者には担うべき責任があるのか。

言語は分化と混成を繰り返し、変化してきた。ふたつの言語の接触の場には必ず翻訳があり、変化の一端を担ってきたはず。かつてない規模で言語と文化の接触が起こっている今、翻訳者は変化の渦中にあって訳語とスタイルの選択を求められる。iPhoneに（アイフォーン）と併記する新聞方式は是か。one of the most…は「最も～の1つ」でいいのか。

ジャーナリズム翻訳の現場に身を置く翻訳者が迷いを語ります。

登壇者
岩坂　彰

ノンフィクション、およびジャーナリズム分野の翻訳家。京都大学文学部哲学科卒業後、出版社の編集者を経て翻訳家に。『快感回路』（河出書房新社）や『嗅ぐ文学、動く言葉、感じる読書－自閉症者と小説を読む』（みすず書房）をはじめ多数の出版翻訳を手掛けると同時に、ビジネス雑誌向けにThe Financial Times紙やThe Economist誌の記事翻訳を毎週手がけている。



会場　神戸大学
　　鶴甲第1キャンパスB313
日時　2024年 11月12日（火）
　　15時10分～16時40分

主催：神戸大学国際文化学研究推進インスティテュート（Promis）
申し込み・お問い合わせ：藤濤文子 fumiko@kobe-u.ac.jp